

組みづくりを検討するとのことですので、今後は関係行政機関との連携を強化するよう重ねて求めます。

次に、「**GREEN×EXPO2027におけるミュージカル事業について**」です。

オリジナルミュージカル出展事業については、多額の県費を投じる以上、費用に見合う効果を十分に発揮できるよう、より一層の工夫と検証が求められます。「Vibrant INOCHI」の理念発信の手段として採用されたとはいえ、上演に対応する催事場の建設費や制作・上演費を合わせると総額で約12億円に上り、その活用方法や発信効果を丁寧に検証していくことが重要と考えます。より多くの方に理念を届けるため、ライブ・映像上演の拡充やミュージカル以外のコンテンツの充実を図るとともに費用対効果の観点から事業内容をしっかりと精査し、投じた予算に見合う成果が得られるよう徹底した取組を強く求めます。

次に、「**かながわ水源環境保全・再生基本計画(素案)について**」です。

令和8年度末に計画期間が終了することから現在、令和9年度以降の水源環境保全・再生施策に係わる新たな計画の策定を進めており、将来にわたり県民が必要とする良質な水を安定確保するために水源環境の保全と再生に資する取組は今後も必要であると考えます。今後、実行5か年計画の案を今年12月までに策定していくこととなりますが、事業の具体的な運用を含め、引き続き市町村や関係団体の意見をしっかりと聞きな

がら検討を進めるよう求めます。加えて、県内水源保全地域の集落周辺の里山林においては、人家近くの危険木の放置や有害鳥獣の出没など、様々な課題が生じてきている状況があり、こうした里山林の整備についても、水源環境の保全・再生を進めていく上でしっかりと取り組むことを求めます。

次に、「**新たな地方独立行政法人の設立について**」です。

中井やまゆり園の独立行政法人化まで半年を切り、今後は家族会への対応だけでなく、不安や心配のある全ての利用者・ご家族それぞれの状況に寄り添った対応を求めます。また、独立行政法人化について常任委員会の中で「アクションプランを継承発展させる、日中活動の開拓を進める、グループホームに移行された方へのフォローアップを行う」などの答弁がありました。当事者目線の支援や地域共生社会の実現を目的とした法人であることを忘れず、中井やまゆり園が風通しの良い体制の中で、利用者が尊厳をもって安心して安全に生活できる場となること、また一人一人の人生をしっかりと支援することを求めます。さらに、データに深く関わるような人材を組織に配置し、利用者のようこびにつながる再現性のある福祉科学の研究の推進を求めます。

次に、「**米国関税措置及び、日産自動車の生産縮小に向けた取組について**」です。

米国の関税強化や日産自動車の生産縮小など、県内自動車関連産業を取り巻く環境は不透明さを増しています。中小サプライヤーの状況把握を継続し、アンケート調査を定期的実施するなど、実態を的確に捉えることが重要です。また、今回の9月補正予算では、小規模企業者等設備貸与制度の拡充が図られ、燃料費削減などの生産性向上や貸倒れ率が0.2%と低水準に抑えられているなどが報告されました。現在、制度を利用する業種の7割を占める製造業・建設業にとどまらず、他分野にも活用を広げ、需要の高まりに対応した柔軟な運用を求めます。

最後に、「**県立高校の統廃合について**」です。

今定例会では県立高校改革実施計画第Ⅲ期の期外計画として4組8校の再編・統合案が示され、かつて165校あった県立高校は、平成12年の県立高校改革推進計画以降、40校を超える学校が削減される見通しとなりました。県内には高校が設置されていない町村が7つ、また一校のみの自治体も10市町あり、人口減少が進む地域では教育環境の確保や地域バランスへの配慮も必要です。こうした地域においては、学校のさらなる魅力化を図り、クラス規模を小さくした手厚い教育を特色とするなど、新たな施策を進めるよう求めます。また、国の審議状況も注視しつつ新たな教育施策を検討し、今後の再編統合については特に慎重に行うことを強く求めます。

以上、意見、要望を申し上げ、今定例会に提案された定県第85号議案「令和7年度神奈川県一般会計補正予算(第3号)」及び、その他の諸議案に賛成することを表明し、討論を終わります。

POSTCARD

お手数ですが
切手をお貼り
ください

2 5 2 0 1 4 3

相模原市緑区橋本6-17-3
広木ビル1階-2

小田貴久事務所
行

ご意見 ご要望	
お名前	フリガナ
ご住所	
連絡先	

お名前・ご連絡先をご記入いただくと幸いです。

※いただいた個人情報は、細心の注意を払って適正厳正に管理します。